

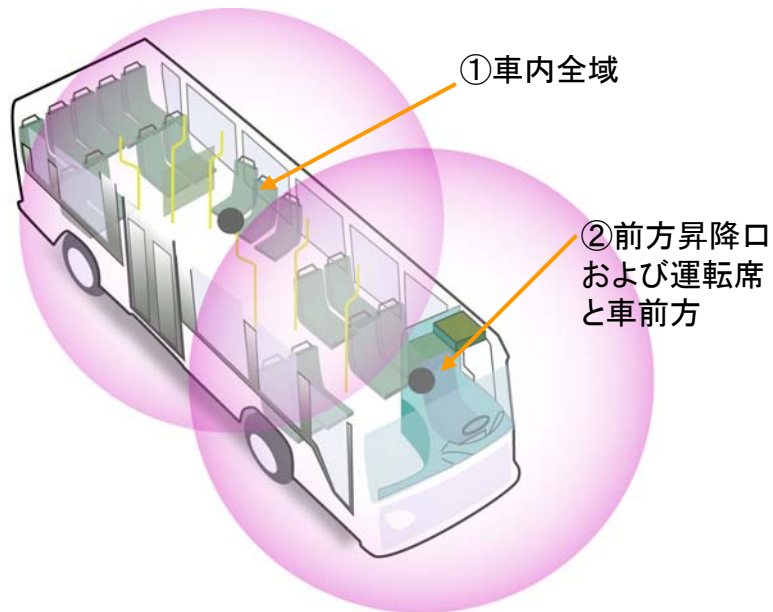
バス車内モニタリングカメラ

バスの車内を見るカメラのご提案

- ◆ バス車内の状況をカメラで撮影し、記録を残す。
- ◆ **遠隔地(本部)から**車内の映像をモニタリングする。
- ◆ 小型のカメラを天井裏に埋め込み、カメラの存在を目立たなくする。
- ◆ **360度全周囲が映る**魚眼レンズ搭載のカメラなので、死角なく、カメラの台数を減らせる。
- ◆ 運転席から前方と車内の映像を同時に撮影できる。
- ◆ デジタル パン・チルト・ズームなので、駆動部がなく、**耐久性に優れる**。
- ◆ 300万画素の**高解像度**カラーCMOSセンサー搭載。
- ◆ 従来よりもカメラ台数が少なくでき、設置・メンテ・映像管理が楽。

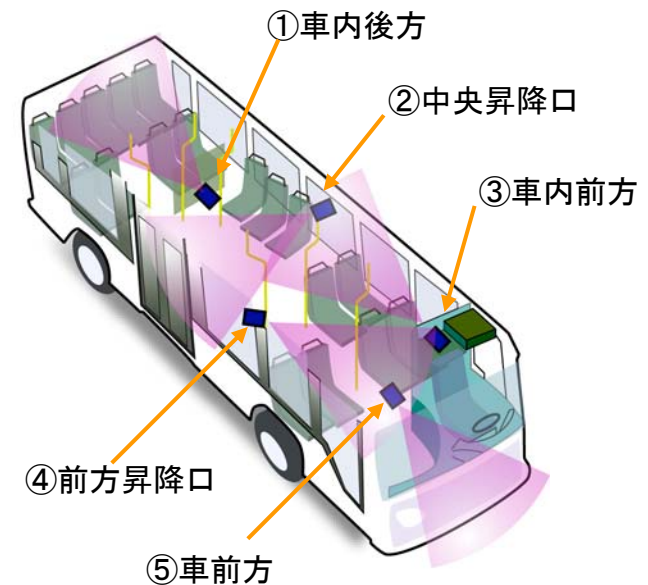
360度カメラなので台数を減らせます

【360度カメラの場合・・・】



- 少ない台数で全域を映せます。
- 特に②は、車内外が同時に映せます。

【従来のカメラの場合・・・】



- 視野角が狭いので、たくさんのカメラが必要。
- それぞれに配線と映像管理が必要。

こんな映像が見られます

車内天井カメラ

FLT33-F

運転席カメラ

FLT33-M



車内後方を拡大して表示



中央昇降口を拡大して表示



車内を中央から左右に2分割して表示



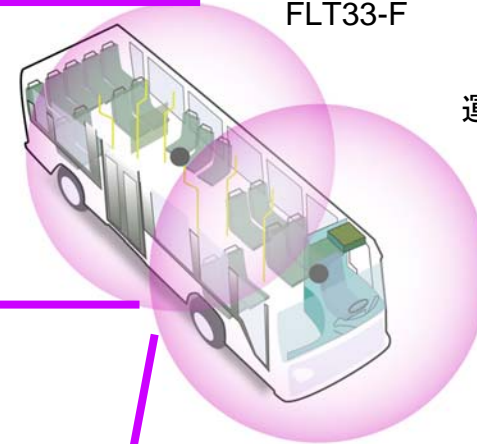
360度全周囲の映像



車内前方を拡大して表示



車内全域を4分割して表示

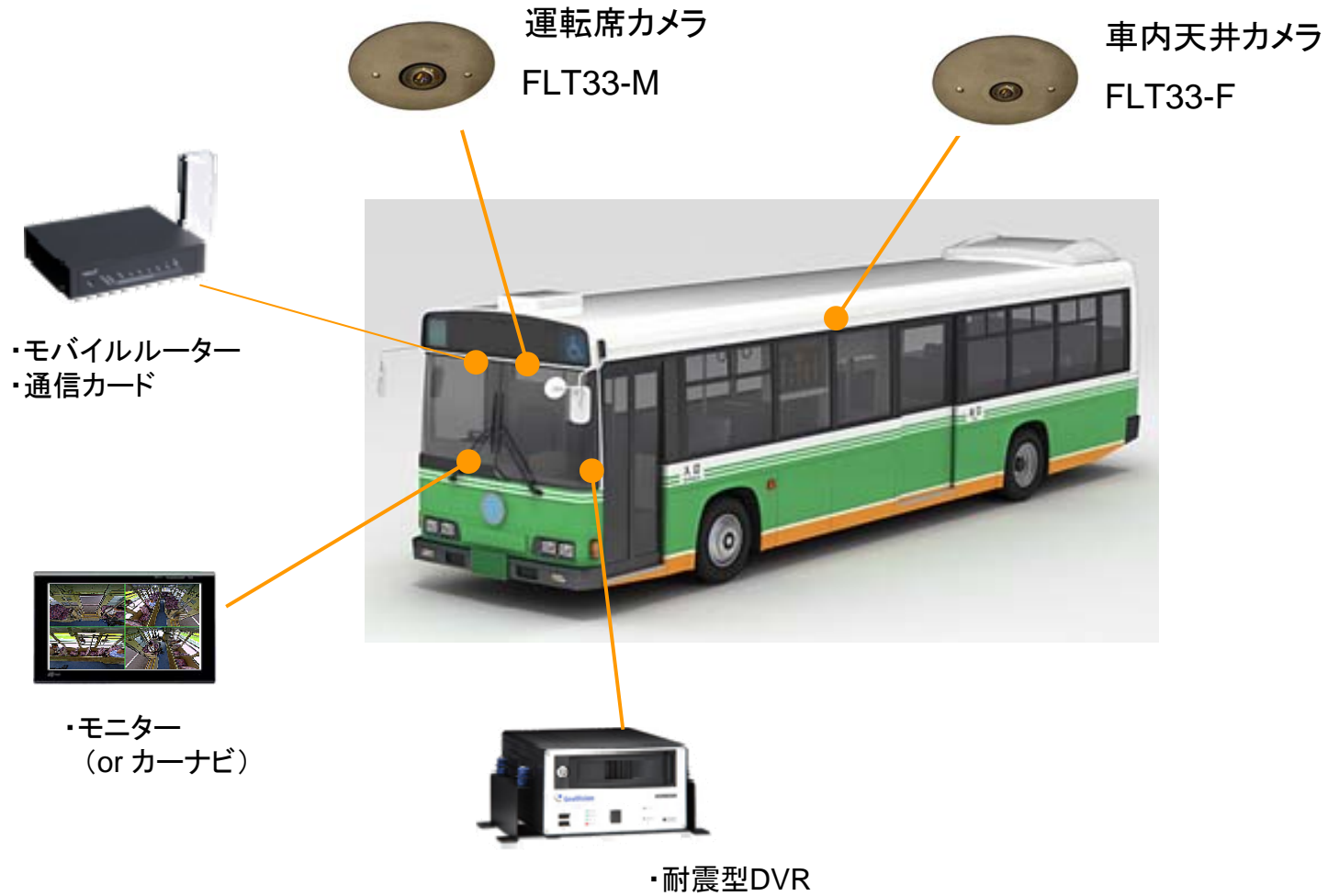


車前方も車内も同時にきれいに映る

導入による効果

- 運行上の安全を本部から確認できます。
- 異常を察知した場合、任意の部位を拡大(平面展開)して確認できます。
- 車前方、運転席、車内の状況が一つのカメラで撮影でき、事故の場合の検証に役立ちます。

システム概要



システム構成図

